

# 特別区議会議長会、 東京都に対し要望活動を実施

特別区議会議長会は8月21日、令和8年度の東京都の施策及び予算に関する要望活動を行いました。

要望内容は、各区議会議長から提出された項目をもとに、7月の議長会総会で決定されたものです。

渡辺ゆいち会長（品川区議会議長）をはじめ、役員議長ら8名が都庁を訪問し、栗岡祥一東京都副知事らと面談しました。

はじめに、渡辺会長から8項目の要望事項について趣旨説明を行いました。公共交通に関する要望では、都営バス減便の要因である運転手不足解消のため、あらゆる人材確保策を講じることなどを求め、インバウンド客対策のための宿泊税の見直しと特別区への分配を求める要望では、東京都税制調査会の答申を踏まえ、増額を前提とした宿泊税の見直しなど求めました。そのほか「いづれの要望事項も特別区にとって緊急かつ重要な課題であるので、その実現に向け、ご努力いただくようお願いしたい。」と要請しました。

栗岡副知事からは、公共交通に関する要望については、都営バスにおいては、バス運転に必要な大型二種免許をお持ちでない方を対象とした養成型選考の年間募集人員を令和7年度から倍増し、門戸を広げた採用を行っている。また、短時間勤務を導入し、OB等の活用も図っている。あわせて、乗務員志望者の増加に向け、都庁関係局や業界団体等と連携して取

り組むなど、引き続き人材確保策を検討していく。

インバウンド客対策のための宿泊税の見直しについては、制度の創設から20年以上が経過する中、高額な宿泊の増加など宿泊税をめぐる状況は大きく変化しており、令和5年度には、東京都税制調査会から課税方式の見直しなどについて報告があった。都では見直しにあたり、宿泊料金の調査などを実施するとともに、意見交換の場を設け、宿泊業界関係者、経済界、有識者の皆様から幅広くご意見をいただいている。年内の素案公表に向けて、納税者及び宿泊施設事業者の負担感にも十分配慮しながら、宿泊税の課税のあり方や使途について検討を進めていく。

このほか、観光バス駐車場の確保・整備促進や下水道の老朽化対策・耐水化対策など、本日、特別区議会の皆様からいただいた全8項目にわたるご要望については、「2050東京戦略」の推進や来年度予算に向けて、真摯に対応を検討していく。

東京には、気候危機、人口減少・少子高齢化をはじめ、都市の強靱化など待ったなしの課題が山積している。東京の持続的発展を実現するため、都区で緊密に連携して、こうした課題に向き合い、スピード感をもって対応していくことが重要であると考えている。今後とも、都政への特別区議会の皆様の御理解と御協力を賜ります

よう、改めてよりしくお願い申し上げます。等の発言がありました。

## 令和8年度 東京都の施策及び予算に関する要望事項

| 要 望 事 項                                |
|----------------------------------------|
| 1 公共交通に関する要望                           |
| 2 観光バス駐車場の確保及び整備促進を求める要望               |
| 3 下水道の老朽化対策と耐水化対策の強化を求める要望             |
| 4 区立小・中学校における教職員不足解消及び教育環境充実に向けた支援について |
| 5 インバウンド客対策のための宿泊税の見直しと特別区への分配を求める要望   |
| 6 鉄道の連続立体交差事業の早期実現を求める要望               |
| 7 防犯カメラの維持管理費等に係る町会・自治会等の負担軽減を求める要望    |
| 8 路上生活者対策事業の充実を求める要望                   |

### 【東京都議会への支援要請活動】

同日、渡辺会長をはじめ8名の役員議長が都議会を訪れ、都議会の増子議長・菅野副議長及び主要会派に対し、要望事項の実現に向けた支援を要請しました。

「令和8年度東京都の施策及び予算に関する要望」の本文は、特別区議会議長会ホームページ（[www.tokyo23city-gichokai.jp](http://www.tokyo23city-gichokai.jp)）をご覧ください。

（特別区議会議長会事務局）



要望活動の様子



栗岡東京都副知事（左から5人目）に要望書を手渡す渡辺会長（左から4人目）、田中副会長（右から4人目）、ただ会計監事（左から3人目）、土屋幹事（右から3人目）、一柳幹事（左から2人目）、木梨幹事（右から2人目）、上野参与（左から1人目）、舘先参与（右から1人目）